



捕まえた生き物を調べ、川の状況を判定。

川の生き物を捕まえたら、河原に上がって調べよ。どんな生き物がいるのかな？

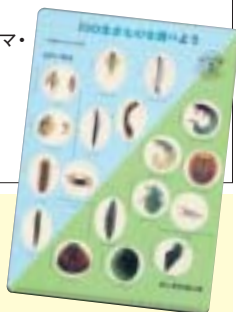
この日は、33匹のカワゲラと、23匹のヒラタカゲロウ、ヘビトンボも10匹捕まえたよ。他にも、ウズムシやサワガニ、ブユ、ヤマトビケラ、コオニヤンマ、コガタシマトビケラ、ヒルもいたね。小さな魚やオタマジャクシを捕まえたお友達もいたよ。「見たことのない生き物がたくさんいたよ。」

生き物がたくさんいたよ。川の中つてもいろいろだね」という男の子や、「最初は水が冷たいって思ったけど、だんだん慣れて、捕るのが楽しくなった」という女の子。調査の結果、葛野川はきれいな水が流れているとわかって、「やっぱりね」「そうだと思うた」なんて口々に言いながら、みんなすごく嬉しそうだったよ。

4年生の担任の藤野薫先生は「学校のすぐ近くを流れていることもあり、子ども達にとつてこの川はすごく身近な存在で、愛着もあるよです。事前学習でも、『葛野川の水はきれいかな？』の問いに、大きな声で『きれいだと思う』と答えてくれました。これからは、このきれいな川を守るために、自分たちができることをやっていきたいと思えます」。

最後に生き物を川に帰し、調査は終了。みんなの力で、いつまでも葛野川の水がきれいなままだらうといいね。

- きれいな水…カワゲラ・ヘビトンボ・サワガニ・ヒラタカゲロウ・ウズムシ・ブユ・ヤマトビケラなど
- 少しきたない水…カワニナ・ヤマトシジミ・コオニヤンマ・コガタシマトビケラなど
- きたない水…タニシ・ヒル・ミズカマキリなど
- 大変きたない水…アメリカザリガニ・エラミミズ・サカマキガイなど



### 川で楽しく遊ぶための約束事!!

**一人で行かない!**  
必ず、大人の人といっしょに行こうね。子どもだけや一人では、危ないよ。

**天気の良い日に行こう!**  
雨がたくさん降った後は、川の水がふえているよ。水にごったりして、足下がみえにくいから、危ないよ。

**はだして川の中へ入らない!**  
危険なところへは近づかない!



### 生物調査 問い合わせ先

- 大気水質保全課 水質担当 ☎055-223-1511
- 中北林務環境事務所 環境課 ☎0551-23-3090
- 峡東林務環境事務所 環境課 ☎0553-20-2739
- 峡南林務環境事務所 環境課 ☎055-240-4141
- 富士・東部林務環境事務所 環境課 ☎0554-45-7811



今回水生生物調査に参加してくれたのは、大月市立七保小学校の3、4年生45名のお友達。学校の近くを流れる葛野川の水質を調査したよ。まずは大気水質保全課の谷内さんから、どんな調査なのかどうしてこの調査をするのかを教えてくださいました。みんな真剣な表情で聞いていたね。

お話が終わると、班ごとに川の中へ。そうそう、川の生き物を取るときは、上流側にお友達がお友達が石を持ち上げたり、川底の泥を探ったりして見つけた生き物を、下流側に待ち構えているお友達が網ですくって白いバットの中に入れていくんだよ。みんな元気に声を掛け合って、たくさん捕まえていたよ。



森林環境部 大気水質保全課 水質担当  
谷内 大輔 さん



川にはいろいろな生物が住んでいます。なかにはきれいな水でしか生きられない生物もいれば、汚れた水が好きな生物もあります。そうした生物の性質を利用して、その川の水質を調べるのが、水生生物調査です。

この調査では、実際に川に入って生物を捕まえてから、どんな生物をどのくらい捕まえることができたかを調べるため、たくさんの方に参加してもらった方がより正確な結果を得ることができます。ちなみに、昨年度は27団体506名に参加してもらって調査をしたところ、約90%の川がきれいな水でした。

最近では、川遊びをする子どもが少ないようですが、県内にはまだまだきれいな川がたくさんあり、約束を守れば楽しく遊べます。県では、水生生物調査が、参加した人にとって、川をより身近に感じたり、水質保全について考えたりするきっかけとなればと考えています。中学生やクラブ活動、地域の子供クラブなども大歓迎です。やってみたいというお友達、ぜひ連絡をください。

## キッズ ニュース

# 「いつまでもきれいな川に!」

## 私たちの身近な川についてもう一度考えよう!

私たちの家や学校の近くを流れる川、そこに流れる水は、私たちの生活の中で欠かすことのできない存在だね。

また、清らかな川の流れや緑あふれる水辺は、魚や鳥たちとふれあうことができ、私たちの暮らしにうるおいを与えてくれるよ。

この水辺をいつまでも残すことができるように、もう一度身近にある川について、考えてみよう!



「水生生物調査」を体験する大月市立七保小学校のお友達



### 生活に欠かせない川

私たちの身近にある川は、欠かすことのできない自然のひとつだね。毎日飲んでいる水やお米、野菜を育てる水も、そのほとんどが、もともとは川の水なんだよ。

でも、あまりにも身近な存在なので、その大切さを忘れてしまいがちになるよね。私たちの川をいつまでもきれいで、うるおいとやすらぎを与えてくれるところにしてようね。

### 7月は河川愛護月間

昭和46年から、全国一斉に7月を「河川愛護月間」としたんだ。県内各地でも河川清掃などの取り組みをしてきたんだよ。こうした活動によって河川愛護に関心が高まり、県内各地の川は年々きれいになってきたんだよ。

### 川を大切にす気持ちは持とう!

みんなが川や水辺にふれあい、川を好きになることで、大切にす気持ちは持ててきたんだよ。



### 川にすむ生き物を調べると川がきれいかわかるんだよ

川には、いろいろな生き物がすんでいるよ。川の生き物を調べると、その川の水が、きれいかわかるんだよ。県では、昭和59年から川の生き物で、水質がわかる「水生生物調査」をおこなっているんだよ。県内の小学校や中学校のお友達もこの調査に参加して、川の生き物を調べてるんだよ。



てるんだよ。いつまでもきれいな川で、釣りしたり、キャンプやバーベキューして遊べるように、楽しんだ後は、ゴミや空き缶は持ち帰って約束しようね。

